

## 今日のトピック

# 豪中銀、政策金利を据え置き、豪ドルは底堅い動き

## ポイント1 過去最低の2%を継続 景気、インフレの見通しを維持

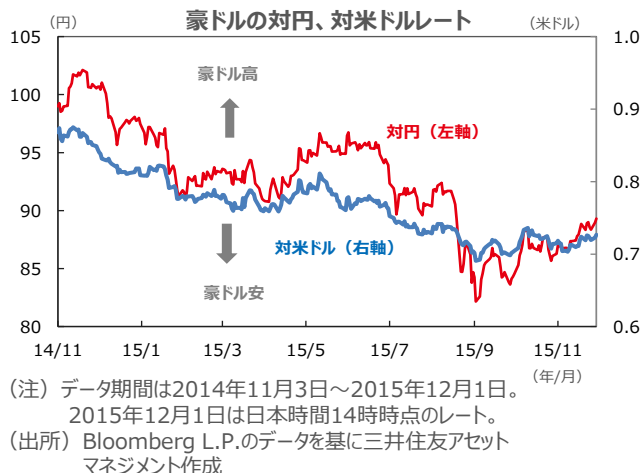
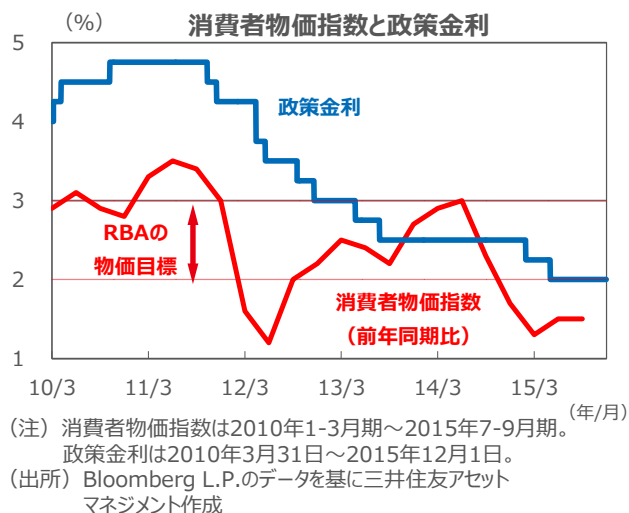
- オーストラリア準備銀行（RBA）は1日、政策金利を2.00%に据え置くことを決定しました。ブルームバーグ社の集計によると、29名のエコノミスト全員が据え置きを予想していました。
- 景気、物価については、「長期平均を下回る緩やかな経済成長がしばらく続くため、向う1年～2年はインフレ目標に沿う」との見方を維持しました。

## ポイント2 為替は底堅い展開 利下げ観測が後退

- 為替については、「主要な商品価格の大幅な下落に、豪ドルは適応しつつある」と中立的な評価を維持しました。RBAは、現状の豪ドルの水準をほぼ妥当と判断しているようです。
- 10月の失業率が5.9%と、市場予想の6.2%を大きく下回ったことなどもあり、このところ利下げ観測はやや後退しています。これを受けて、豪ドルの対円レートは上昇傾向にあります。

## 今後の展開 政策金利は当面据え置き、豪ドルは底堅い推移が継続へ

- 設備投資の不振を、利下げ効果などによる個人消費と住宅投資の拡大で吸収し、景気は緩やかな回復が見込まれます。
- 賃金の伸び悩みや資源価格の下落などから、インフレは当面、低位で推移する見通しです。
- 利下げの可能性が全くなかったわけではありませんが、緩やかな景気回復と低インフレの持続により、RBAは当面、政策金利を据え置くとみられます。日豪金利差が維持されることなどから、豪ドル円レートは底堅い展開が続くそうです。



ここも  
チェック! 2015年11月19日 日本の金融政策 (2015年11月)  
2015年11月13日 最近の指標から見る豪州経済 (2015年11月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。